

日本赤十字九州国際看護大学
学生、教職員 各位

新型コロナウイルス感染症防止のための今後の本学の行動指針について

現在、全国では2日続けて2万5千人を超える新規陽性者数が、福岡県では昨日に過去最多の新規陽性者数である1,290人が確認されたと発表されました。本学においても年末年始から成人の日を含む連休以降、複数の濃厚接触者あるいは濃厚接触の疑い者が確認されています。

本学では昨年の10月15日より行動指針を引き下げ、11月から原則として面接授業を実施していましたが、これから、定期試験、入学者選抜試験などが予定されており、より一層の感染対策の強化が必要です。

以上のことから、福岡コロナ警報はまだ発出されておりませんが、第6波の主であるオミクロン株の感染力の強さ等を考慮し、本学の行動指針を本日1月17日から「2制限(小)」に引き上げます。また、アルバイトの就労については、これまで「2制限(小)」では自粛を要請していましたが、オミクロン株の感染力の強さや今後の予定等を勘案し、「3制限(中)」同様、禁止とします。

感染予防及び感染拡大防止を図るため、「三つの密を徹底的に避ける」「マスクの着用」「手洗いなどの手指衛生」「人と人との距離の確保」等の基本的な感染防止対策の徹底、健康管理の徹底など、各行動について学生・教職員に周知します。

新規陽性者の傾向として、若い世代の感染拡大、会食や課外活動による感染・クラスターの発生、家族間の感染があります。新型コロナウイルスワクチンを接種したとしても、日常生活において感染者と濃厚接触している可能性や、知らぬ間に感染している可能性があることを意識し、皆さまには、あらためて厳重な感染防止に努めるよう、注意喚起します。

1. 各行動について

(1) 学生の大学構内立ち入り

感染拡大防止に最大限の配慮をしつつ、大学構内への立ち入りを可とします。

ただし、できるだけ立ち入りを少なくするようお願いします。なお、オンライン授業の受講にあたり、ネットワーク環境や機器に支障が生じ学修の継続が困難な場合は、引き続き事前予約制とします。 ※問い合わせ先：学務課へ電話（0940-35-7047）

(2) 授業

原則としてオンライン授業とします。科目責任者から発信される留意事項などをあらためて確認ください。

(3) 学生の課外活動

各学生（団体）に活動の自粛を求めるとともに、体育館等の課外活動施設の一部を閉鎖します。

アルバイトの就労については、オミクロン株の感染力の強さや今後の予定等を勘案し禁止とします。

(4) 教職員の勤務体制

感染拡大防止に最大限の配慮をしつつ、人の流れを抑制する観点から時差出退勤と業務の性質上可能な業務は在宅勤務を推奨します。

委員会の開催方法については、審議事項等に応じ各委員会に一任します。

(5) その他

以下のことを厳守ください。また、ご家族や同居されている方とも共有ください。

- ① 感染の疑い、濃厚接触の疑いがある場合、あるいは同居人に同様の疑いがある場合は、最寄りの受診・相談センターに問い合わせてください。また、咳や発熱などの症状がある場合は医療機関へ電話連絡してください。

その後、速やかに大学 (jrchoken@jrckicn.ac.jp) に連絡ください。

- ② 外出にあたっては、目的地の感染状況、利用する施設の感染防止対策をよく確認して、混雑していない時間と場所を選ぶこと。

特に発熱等の症状がある場合は、外出や移動を避けること。

- ③ 都道府県をまたぐ出張については、感染が拡大している地域への不要不急の移動は極力控えるなど、その地域の感染状況を十分に踏まえ、出張は慎重に行うこと。

なお、出張の際も、感染防止策を徹底すること

- ④ 集団での旅行、宿泊は原則自粛すること。
- ⑤ 海外渡航については、外務省の感染症危険情報に基づき判断し、必ず事前に申請・届を提出すること。
- ⑥ 臨地実習に係る感染防止対策については、臨地実習要項及び各実習の指導に基づくこと。
- ⑦ マスクを外した状態では、他者との近距離での会話や食事は行わないこと。
特に、飲食時について、会話を控え、飲食後の会話はマスク着用を厳守すること。**(黙食の徹底)**
- ⑧ 健康管理表または健康管理アプリ（健康日記）による自己管理を徹底し、健康管理表の身体症状に該当する症状がある場合は登校・出勤しないこと。
- ⑨ 公共交通機関を利用する場合は、移動にかかる時間を可能な限り短縮し、常にマスクを着用し、緊急時以外での会話はしないこと。